



文部科学省 科学技術政策研究所

政策研ニュース



National Institute of Science and Technology Policy **NO.263**



分析に勤しむ西川

目次

I. 政策研究最前線	P2
イノベーションの最前線から	第1研究グループ 研究員 西川 浩平
II. 気になる！？科学技術	P5
最近の話題への注目度（2010年9月調査）	第2調査研究グループ
III. 最近の動き	P6



「イノベーション」。。。最近、良く耳にする言葉ではあるが、この言葉の意味するところは想像以上に幅広い。この、つかみどころのない「イノベーション」の実態に少しでも近づきたいと考える研究者は数多い。

科学技術政策研究所は、民間企業のイノベーション活動に関する調査の結果を取りまとめ、NISTEP-REPORT No. 144「**第2回全国イノベーション調査報告**」として9月22日に公表した。この取りまとめに貢献した一人が、第1研究グループの西川浩平研究員である。

西川に、「イノベーション」とは何か、その仕事への取り組みについて聞いてみた。

○ 「イノベーション活動」と最近よく聞きますが、いったい何のことでしょうか？

イノベーション活動とは、革新的な製品・サービスまたは業務の改善を目的としたプロセスの開発に必要とされる設計、研究開発、市場調査などの取り組みを指します。なおイノベーション活動によって実現されるものに、「プロダクト・イノベーション」と「プロセス・イノベーション」があります。

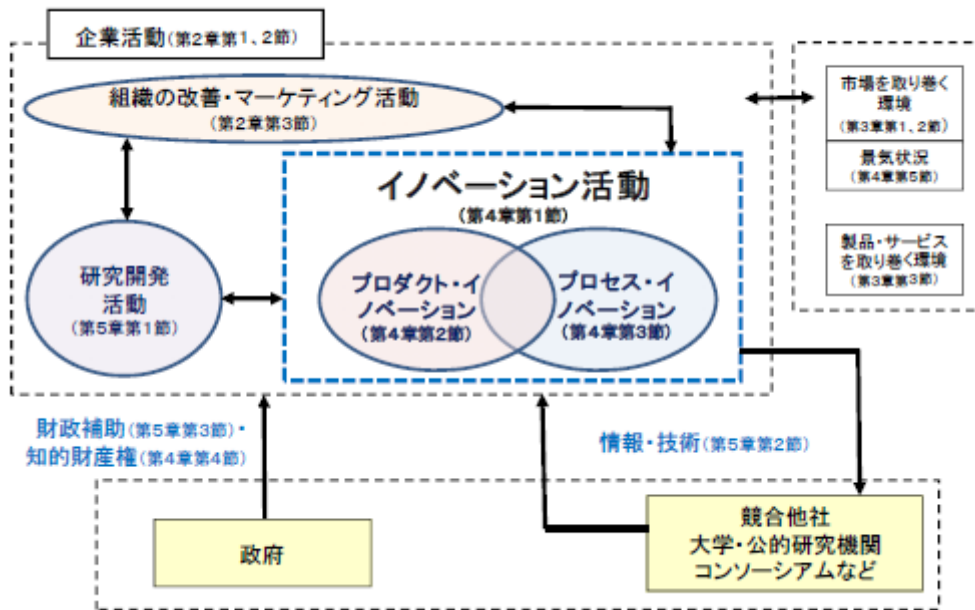
○ プロダクト？プロセス？2種類もあるのですか

そうです。イノベーション活動は、2種類に分けられます。

プロダクト・イノベーション・・・新製品あるいは新サービスの市場への投入をいいます。これには、既存の技術を組み合わせたものや既存製品あるいは既存サービスを技術的に高度化したものも含まれます。ただし、製品あるいはサービスの機能面や使用目的が既存のものと変わらない単なるデザインのみの変更、他社製品・サービスの単なる販売・提供は含まれません。

プロセス・イノベーション・・・新プロセスの導入または既存プロセスの改良をいいます。これには、製品・サービスの製造・生産方法あるいは物流・配送方法の新規導入や改良だけではなく、製造・生産あるいは物流・配送をサポートする保守システムやコンピュータ処理などの新規導入や改良も含まれます。

本調査の全体像を下に示します。



○ 「第2回全国イノベーション調査報告」の概要を教えてください

イノベーションを実現した企業の割合

本調査に回答した企業のうち 48.1%が、プロダクト・イノベーションもしくはプロセス・イノベーションのいずれかを実現しています。イノベーションの実現割合をプロダクト／プロセス別にみると、31.4%の企業がプロダクト・イノベーションを実現する一方、37.7%の企業がプロセス・イノベーションを実現しています。

イノベーションの成果

実現したプロダクト・イノベーションの成果に着目すると、営業利益や国内市場シェアの拡大を目指した企業のうち2割程度が5%以上の拡大を達成したことが分かりました。他方、実現したプロセス・イノベーションの成果に着目すると、人件費、電力・燃料消費量、原材料使用量といった経営資源の削減を目指した企業の3割前後が5%以上の削減を達成したことが分かりました。

市場規模の変化とイノベーションの関係

昨今の金融危機の影響もあり、本調査に回答した企業のうち 2006-2008 年度において国内の市場規模が縮小したと回答したのは 49.7%、市場規模が拡大したと回答したのは 14.7%でした。市場規模の変化とイノベーション実現の関係に着目すると、市場が縮小している状況よりも拡大している状況で、イノベーションが実現していることが分かりました。

大規模合併に伴う市場の再編成

市場規模の縮小に直面した企業を対象に、大規模合併の有無とイノベーション実現の関係をみると、大規模な合併が行われた市場に属する企業の方が、イノベーションを実現していることが分かりました。

企業活動のグローバル化

本調査に回答した企業の3割程度が国外市場で製品・サービスを提供しており、その割合はサービス業よりも製造業の方が高くなっています。また国外市場に進出している企業の方が、進出していない企業と比較してイノベーションを実現した割合が高いことも明らかになりました。

イノベーション活動における隘路

イノベーション活動において隘路に直面した企業の半数程度が最も重大な隘路として、技術に関するノウハウや有能な人材の不足を挙げています。

○ 政策研に入られたきっかけなど、を教えてください

私は自然豊かな石川県白山市の出身、幼い頃からプロレス好きで、遊びと勉強をバランス良くやっていました。

大学院では医療経済学を専攻したこともあり、修了後は国立長寿医療研究センターに入り、高額療養費制度や高齢者医療に関する研究を進めていた。同僚から政策研の研究者公募の話聞き、研究内容の魅力から応募しました。

「イノベーション」についても、当時はそれほどよくわかっていませんでしたが、研究を進めて行くのに従って、研究のヒントになるような発見もありました。分析に重要なのは、時間管理です。

政策研では、バラエティに富んだ研究者が多く、いろいろな「気づき」もありますし、個性的な研究者から刺激を受けることも多いので、日々研究者として楽しく過ごしています。



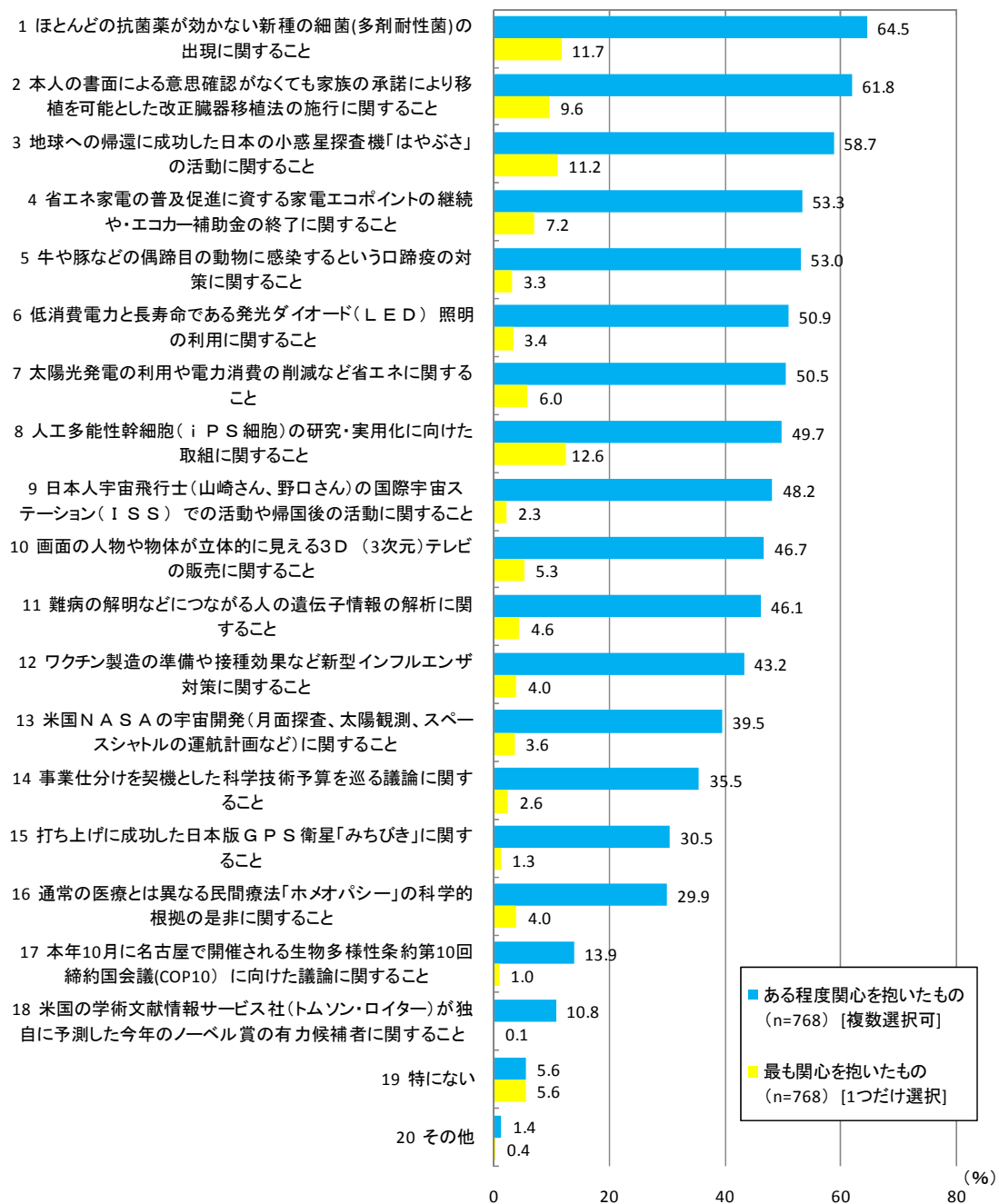
○ どうもありがとうございました



第2 調査研究グループ

インターネットを利用して、科学技術に関する最近の話題への関心の有無を調査したところ、9月の調査で最も関心が寄せられた科学技術に関する話題は、複数選択方式では「多剤耐性菌の出現に関すること」、1つだけ選択する方式では「iPS細胞の研究・実用化に向けた取組に関すること」でした。[調査期間：9月24日(金)～27日(月)]

図 科学技術に関する最近の話題への注目度(2010年9月調査)





Ⅲ. 最近の動き

○ 講演会・セミナー

- ・ 9/1 所内講演会「日米原子力協定の成立経緯と今後の問題点」
遠藤 哲也（財団法人 日本国際問題研究所シニアフェロー）
- ・ 9/15 所内講演会「日本は、中国の科学技術力をどう『利用』すべきか」
伊佐 進一（前在中華人民共和国日本国大使館 經濟部 一等書記官）
- ・ 9/17 所内講演会「タイにおけるイノベーションシステムについて」
Dr. Nares Damrongchai (Executive Director of APEC Center for Technology Foresight
at National Science and Technology Development Agency,
Thailand)
- ・ 9/28 所内講演会「デザインエンジニア：イノベーションの現場からの報告」
田川 欣哉（takram design engineering 代表取締役）
- ・ 9/29 所内講演会「欧州リサーチエリア（ERA）と ERAWATCH：政策のモニタリングと学習のツ
ールとして」
Dr. Lee Woolgar（東京大学 特任講師）

○ 主要訪問者一覧

- ・ 9/7 駐日欧州連合代表部 Barbara Rhode 公使参事官／科学技術部長
木村 彰 科学・技術担当官
- ・ 9/15 中華人民共和国駐日本国大使館
阮湘平 参事官
李纓 参事官
苗允 三等書記官
- ・ 9/22 OECD Andrew W. Wyckoff 科学技術産業局長

○ 新着研究報告・資料

- ・ 「第2回全国イノベーション調査報告」(NISTEP-REPORT—144)
- ・ 「大学等におけるベンチャーの設立状況と産学連携・ベンチャー活動に関する意識」(調査資料—189)
- ・ 「国立大学の特許出願の特徴に関する調査研究」(Discussion-Paper—67)
- ・ 「国際比較を通じた我が国のイノベーションの現状」(Discussion-Paper—68)
- ・ 「科学技術動向 2010年9月号」
レポート1 資源問題に直面するモータ用永久磁石の研究動向と課題
レポート2 緊急地震速報の開発と効用



編集・発行

文部科学省科学技術政策研究所広報委員会（政策研ニュース担当：企画課）
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第7号館東館 16階
電話：03(3581)2466 FAX：03(3503)3996
ホームページURL：<http://www.nistep.go.jp>

2010年9月号 No.263